

**審判員派遣報告書**

1	派遣事業名 トップリーク研修	2	派遣期日 平成30年8月10日(金)11日(土)12日(日)
3	報告者名 菅 由佳里 (社会人)	4	派遣先 味の素NTC
5	大会概要 および 大会結果		
	大会名称 トップリーク研修	大会期間	2018. 8.10~12
	大会内容		
	2018~2019 トップリークを担当する為の研修会 トップリークを担当するレフリーが集まり研修を行う。		
7	審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等 ＜研修内容・今後の課題＞		
	<p>・審判員に求めること→①【決断と責任】 ②【クルーチーフメンタリティー】</p> <p>① 決断 常に自分自身の意志を持ち、正直な本心を明確に主張する。 責任 その決断については、自分自身が責任を負う。 自信を持って決断すること。クルーとしても、良いコミュニケーションに繋がる。決断＝責任 である。</p> <p>② 一人一人が大切な存在である。忖度は不要。報連相をきっちりすること。</p> <p>③ 判定のミスに対して認めていくこと「すみませんで終わる問題ではない。」失敗を素直に受け入れることがまず大切。失敗を認めることでベンチ・観客からは審判への信頼へと繋がる。</p> <p>④ コーチ・選手と審判がいい距離感であること。正しいものは正しい。ダメなものはダメと判定をしていくこと。RFGに反する場合はルールの適応をすること。</p> <p>⑤ コーチも選手もこれだけ勉強をしている時代であるので、それ以上にレフリーも勉強してレベルアップが必要である。</p> <p>・メカニクスについて</p> <p>① メカニクスを徹底実践していくことがより良い判定へと繋がる。マージナルを大切に、判定をしっかり見極めることが大切になる。クルーの中で情報共有し判定へ繋げるために、誰がそのプレイを見ていたのかというところで、これらを守るのがメカニクスである。</p> <p>② TLGのテーマはクリーンザゲームであり、その中で「ゲームコントロール」「CGメンタリティー」が大切になってくる。まずは、スカウティングで共有、言葉で発する、思ったこと感じたことを自分自身で発することも大切である。</p> <p>③ 前に行く、上に行く、などのひとつひとつの動きに理由を持つこと。こだわること。</p> <p>④ 適度な距離を持って判定をすること。</p> <p>⑤ クローズダウンは早めに行くことを意識する。その際も理由を持つこと。</p> <p>⑥ 誰のプライマリか、その日のクルーとコミュニケーションを取り相手を信頼すること。</p> <p>・プレゼンテーション</p> <p>大きくしないといけない場面も出てくる。ポイントで使うこと。使いすぎにも注意をする。</p> <p>① 笛の吹き方の工夫</p> <p>② 声を使うこと</p> <p>・クルーワークを大切にすること、信頼すること</p> <p>・コールした人、プライマリの方の判定を尊重すること</p>		
	<p>今回はトップリークに参加させていただきありがとうございました。学んだ事をまず県内、ブロックで共有していきます。また、今後の自身の活動の中で活かして、ひとつひとつを大切にしていきます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。</p>		

## 審判員派遣報告書

1	派遣事業名 トップリーク研修	2	派遣期日 平成30年7月10日(金)11日(土)12日(日)
3	報告者名 仲地祥吾 (U18)	4	派遣先 味の素NTC
5	大会概要 および 大会結果		
大会名称	トップリーク研修	大会期間	2018. 8.10～12
大会内容			
2018～2019トップリークを担当する為の研修会 トップリークを担当するレフリーが集まり研修を行う。			
7	審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等		
<p>1、バスケットボールの技術(恩塚氏) 試合に必要な能力 → 適応能力 ※適応能力を高めるためには…試合中になにが起こるかを知っておくことが重要 オフェンス戦術の目的 ・Easy Shot ・Open Shot ・Advantage(Counter/Miss Match) ○Pick&amp;Rollの技術について ・PNRが効果的な理由 1、Ball Manがopenになるためshootに直結 2、パスが必要ない 3、Ballを守ろうとするとAdvantage(Miss Match or 2on1)ができる 4、PickerをHelpするとCloseoutが起きる→ HelpsideのTag ・Foulをもらおうとするポイント→shoot で体、手が触れたときにアクションする。</p> <p>2、TLG新シーズンを迎えるにあたって 〈決断と責任〉 ○決断…常に自分自身の意思を持ち、正直な本心を明確に主張する。 責任…その決断については自分自身が責任を負う。 ・求められること…CCM/忖度は不要/Yesマンを求めている。コーチ・選手・審判が良い距離感で。RFGに反する場合は迷わずルールの適用</p> <p>3、昨シーズンの振り返り 【改善点】Crew work/Mechanics/Presentation/Communication in the game/Screen/Call the impact/EOQ・EOG 【課題】3or2/処置の誤り/ファウルの成立条件の確認</p> <p>4、メカニクス・ガイドライン メカが良いければいいというのは間違い→良い判定につなげるための正しいメカニクスの適用 《マージナルとは何か?》こだわったマージナルが大事 → 決して吹かない方が良いというわけではない! テーマは昨年度に引き続き“Clean the Game” →年齢、ベテラン、若手、経験、男女に関係なく持っている正しい情報を試合中に共有。カリスマ(存在感)の必要性。Be decisive. ○IOT Stationary Distance/Outside-in/Stay with the play/Rferee Def/Active mind set 映像の解析の仕方…映像を見て、自分の目や肩がどこを向いていたかをチェック 試合中はコート上からinputを拾ってすぐに手放さない CとTはショットの後はStay! Call the obvious → Block or Charge だけではなく、ショット等についても明らかなものは必ずCall [Lead]While rotation → Scan the paint/Catch the next match up [T→C] pick the paint</p> <p>5、最後に 今回、初めてTLG研修に参加させていただいた。新ルールやメカニクスについてはTLGはもちろんのこと、県内にも伝達していかなければいけないと感じた。今回学んだことを、しっかりと心に留め、シーズンに臨んでいきたい。今回の派遣に際してお世話になりました香川県協会の皆様、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。</p>			